

平成29年度函館市公共下水道事業報告書

1 概 況

(1) 総括事項

平成29年度の処理区域内人口は235,466人となり、前年度に比べ2,532人減少したが、下水道普及率（行政区域内人口に対する処理区域内人口の割合）は90.5%となり、前年度に比べ0.2ポイント増加した。また、水洗化区域内戸数は136,899戸、水洗化済戸数は130,472戸となり、水洗化区域内戸数に対する水洗化済戸数の割合は95.3%となった。

事業収益については、使用水量の減少により下水道使用料が減少したものの、長期前受金戻入の増加等により、前年度に比べ22,757,655円の収入増（0.3%増）となり、総額で7,604,917,074円となった。

事業費用については、負担金や資産減耗費の増加等により、前年度に比べ65,079,128円の支出増（1.0%増）となり、総額で6,622,943,606円となった。

この結果、当年度の収支は、前年度に比べ42,321,473円減少し、981,973,468円の純利益を生じた。

建設改良事業については、南部下水終末処理場汚泥処理施設乾燥設備工事で平成28年度からの継続事業が完了したほか、下水管渠工事、東山第1ポンプ所機械設備工事、南部下水終末処理場汚泥処理施設電気計装設備工事等を予定どおり施行した。

なお、下水管渠事業および函館湾流域下水道事業費負担金で、合わせて25,733,600円が建設改良費の繰越額となっている。